

## 成績評価基準および GPA について

### 【成績評価基準】

1. 履修した授業科目の成績評価は、原則として保健医療学部は、科目試験（筆記試験・論文・レポート・その他）により行い、言語聴覚専攻科は、定期試験（筆記試験）及び臨時試験（レポート・その他）により行います。

※保健医療学研究科は別に定める。

2. 成績評価基準、および成績証明書等の成績の表記は、下表のとおりです。

### 成績評価基準と GPA

判定	評価点	成績証明書表記	GP (Grade Point)		成績評価内容
合格	90 - 100 点	S	S	4	到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果をおさめている
	80 - 89 点	A	A	3	到達目標を十分に達成している
	70 - 79 点	B	B	2	到達目標を達成している
	60 - 69 点	C	C	1	到達目標を最低限達成している
不合格	59 点以下	表示せず	F	0	到達目標を達成していない
	0		失格 ※1	0	欠席多数・不正行為
合格	-	認定	-	-	単位認定した評価 ※GPA の対象としない

※1 失格は、保健医療学部のみ適用

## 【GPA】

GPA (Grade Point Average、グレード・ポイント・アベレージ) は、各科目の成績から特定の方式によって算出された学生の成績評価値のことです。

まず、各科目の6段階評価を、以下のように換算し合計します。

- S (90 - 100 点) 4
- A (80 - 89 点) 3
- B (70 - 79 点) 2
- C (60 - 69 点) 1
- F (59 点以下) 0
- 失格 0

それに各単位数を掛けて足した合計点を総単位数(履修登録単位の総数)で割ってスコア化するものです。この場合、オールSなら4.00、オールFなら0.00となります。

具体的な事例で説明します。下記の6科目で下記のような評価を得た場合、

情報処理学	2 単位	S
栄養学	2 単位	A
医の倫理	1 単位	S
スポーツ医学	1 単位	C
基礎解剖学	1 単位	F
内科学	2 単位	B

$$\frac{2 \times 4 + 2 \times 3 + 1 \times 4 + 1 \times 1 + 1 \times 0 + 2 \times 2}{2+2+1+1+1+2} = 2.55$$

これによって、履修した科目数に左右されずに、S、A、B、C、F、失格といった6段階評価では計れない、成績の評価が可能となります。

なお、平均点との違いは、平均点が科目の単位数に関係ないのに対して、GPAは科目の単位数を考慮して計算されることです。